

初めての参加大歓迎!! 多くの人参加がオウムを追い込んでいく。

# 第17回 抗議デモ・学習会

# 11月8日(土)

●抗議デモ 1:30集合 1:50出発 烏山区民センター広場

●学習会 2:30開会 烏山区民センターホール

## 講演 サリン被害者の闘いは終わらない

今年6月にオウム事件被害者救済法が成立しました。国として、テロ事件の被害者への救済ということは例がなく、画期的な出来事でした。この救済法成立に力をつくしたのが、中村裕二弁護士と、地下鉄サリン事件被害者の会代表 高橋シズエさんです。

救済法成立への活動、オウム真理教との闘いの記録を両氏にお話しして頂きます。

同時に被害者への給付金の額や給付制度について、オウム真理教から求償(国が給付した金額をオウムから取り立てる行為)することについての国の曖昧な態度が、オウム真理教施設周辺住民におよぼす影響、オウム真理教から取り立てる債務の残額の問題など、烏山地域住民にも関わることをお話しして頂きます。

講師：弁護士、地下鉄サリン事件被害対策弁護団 事務局長 地下鉄サリン事件被害者の会 代表

**中村裕二氏 高橋シズエ氏**



烏山地域オウム  
真理教(現アレフ)  
対策住民協議会



### 中村裕二氏の略歴

昭和31年5月27日 東京生まれ  
昭和54年3月 中央大学法学部法律学科卒業  
昭和62年4月 東京弁護士会に弁護士登録  
平成元年～同2年 英国ロンドンへ留学  
平成2年4月から現在まで東京都町田市にて「未来市民法律事務所」を設立してパートナー弁護士

平成4年4月から同12年3月まで  
中央大学法学部法律学科講師  
平成9年4月から同10年3月まで  
東京弁護士会人権擁護委員会副委員長  
平成12年4月から現在まで  
東京弁護士会業務妨害対策特別委員会副委員長

**自己紹介** オウムによって殺害された坂本堤弁護士と私とは、同期の司法修習生として、2年間同じ釜の飯を食った仲。平成元年11月、英国留学中にロンドンの日本大使館で坂本事件の報道に接する。平成2年2月帰国後に、「坂本堤弁護士と家族を救う全国弁護士の会」(影山秀人事務局長)に参加する。平成7年から、「地下鉄サリン事件被害対策弁護団」事務局長としてオウム真理教を相手方とする裁判を仲間の弁護士らと担当した。

オウム事件に関して、村上春樹氏の著作「アンダーグラウンド」(1997年3月20日講談社刊)の219頁以下、小林よしのり氏の著作「ゴーマニズム宣言 第7巻・同8巻」(1997年7月双葉社刊)の特別対談コーナーに登場など。

主催：烏山地域オウム真理教(現アレフ)対策住民協議会

共催：世田谷区

### 投稿

### 署名・募金活動を行いました

今年の夏も、烏山地域のお祭りやイベント会場におじゃまして、署名・募金活動にご協力いただきました。黄色のタスキを掛けて、募金箱を持ち、署名用紙をたずさえてがんばりました。ある会場では、大きな声でお願いをし、又ある会場では、声をひそめて、主催者側の迷惑にならないようにと気配りをしながらお願いをしています。又、ある会場では、主催者の方がマイクで「署名・募金活動をしていただきますので皆様協力して下さい」と案内もしていただきとても感動致しました。いろいろな所で、いろいろな声をきかせていただいています。「まだオウムの活動やっつけているの」「オウム真理教が烏山にいる限り続けるんですか」「大変頑張ってますね」との励ましの言葉や「署名には賛同できない」と言いなから自分の考えを聞かされたりすると、とても悲しくなったりします。そんな事にもめげず、一人でも多くの方の署名を、少しでも多くの募金をとの気持ちで、私達住民協議会一同頑張っています。お祭りやイベント会場では大人も子どもも、とてもいい顔をして楽しんでいきます。これも平和で安全な世の中だからこそだと思います。これからも署名・募金活動にご協力よろしくお願ひいたします。「団体規制法」存続「観察処分」期間延長の署名活動は最後の追い込みに入っています。オウム真理教(アレフ・ひかりの輪)の活動を規制するためにどうしても必要な法律です。9月末日を期限にしていますので、かさねてご協力お願いします。



次回の予定は10月20日(月)です。

## インタビュー「オウム真理教家族の会」の会長永岡弘行さんに聞く



年2回の抗議集会と学習会にいつも参加して下さっている「オウム真理教家族の会」の会長永岡弘行さんにお話を聞きました。永岡さんは、1988年から20年間、ご自身の息子さんを脱会させ、オウム信者には脱会の説得を続けてきました。この20年を伺ってみました。

### 1. 麻原とあったことがあるとのことですがその印象は？

1988年に、子供にぜひ会って欲しい人がいると頼まれ、会いに行ったのが初めてでした。「これはペテン師だ。大人はいざ知らず子供なら騙されるな」が第一印象でした。言っていることも立派で、身なりも良い、でもその自信もペテン師の持つ底の浅さを感じさせるものでした。その後何回も会っていますが、「人を騙すにはまず味方から騙せ」との麻原の発言が印象に残っています。このため、刑務所等での常軌を逸した言動・奇態も、「騙しているのでは？」との疑問を拭えない訳です。

### 2. 脱会の説得は難しいと聞きますが、息子さんをどのように脱会させましたか？

一人息子ですが、オウムから抜けさせるために、全財産をかけて説得しました。息子は「チベット仏教の最高指導者ダライ・ラマでさえ麻原を信じている」というので、確認のため息子と一緒にチベットまで行き、宗教大臣に真偽をただし、目の前で否定されました。息子に、本来、法を説く人間にはたった1点のやましいことがあってはならないというのに、「お年寄りを騙して偽薬を売っては薬事法違反で捕まる。そのような人間を信じることができるか」と聞くと、目の色が変わったのに気がきました。その時、これで息子は麻原から精神的に離れたと確信しました。結局、子供を信じて、その子にあった方法で脱会するまで説得するしかないと思います。

### 3. オウム信者にどのように脱会を説得し、その結果は？

オウム信者はオウム信者のいうことしか聞いてくれません。他の人間に触れただけで悪いカルマがつくと嫌がられる始末です。息子はもう脱会していましたが仲間意識があるので、息子の言うことは聞きます。息子が、一緒に考えるという方法で説得してくれました。30人位は脱会しました。

### 4. VXガスをかけられた時の状況は？

1995年でした。その時は、上着の襟もとになにかついているくらいの気持ちでしたが、自宅に戻ったところ、心肺停止で呼吸困難となり痙攣が続くという状態に陥り、救急車で病院へ搬送され、2ヶ月半入院しました。後から分かったのですが、麻原の「教団の敵を殺害せよ」との指示で、信者がVXガスの溶液を頭の後ろにかけたそうです。警察からは、例えば、駅のホームは端を避けて真ん中を歩くようになど、オウムへの注意を言い渡されました。

### 5. ひかりの輪として分裂するなど最近のオウムの動きは？

上佑なら、人を騙すために味方を騙すことくらいは平気で出来ると思うので、そのまま信用できません。見せかけの分裂にすぎないと思えません。

### 6. 家族の会を続けてきて今思うことは？

家族の会には126家族が参加しましたが、今は100家族になっています。26の家族は、子どもが脱会したから同時に会もやめたという家族や、この子だけが子供でない、他にも子供がいると言い、信者を見捨ててやめたという家族もいます。家族が会をやめたら子供が自殺してしまったり、オウムに戻ってしまったりという家族もいます。千差万別です。が、会の運動を真剣にやっている家族の子供は、脱会する傾向があるのも事実です。会を続ける意味です。

最後に、永岡さんから8年間も続いている烏山の住民活動への敬意をいただき、住民協議会からは一緒に活動を行って行きたいと呼びかけました。

## 住民協議会活動報告

7月23日(水) 夏休み親と子の映画会で署名・募金活動  
7月26日(土) 新樹苑盆踊り大会で署名・募金活動  
7月27日(日) 千歳烏山駅周辺で署名・募金活動  
7月31日(木)～8月2日(土) からすやま夏祭りで募金活動  
8月4日(月) 事務局会議  
8月6日(水) 芦花公園盆踊り大会で署名・募金活動  
8月9日(土) 粕谷区民センター夕涼み会で募金活動  
8月9日(土)・10日(日) 給田納涼盆踊り大会で募金活動  
8月15日(金) 実行委員会  
8月18日(月) 烏山地区教育研修会で署名活動

8月22日(金)・23日(土) 南烏山りんれい広場盆踊り大会  
で署名・募金活動  
8月23日(土) 上北沢納涼盆踊りで募金活動  
8月24日(日) 親子木工まつり会場で募金活動  
8月30日(土) 千歳烏山駅周辺で署名・募金活動  
8月30日(土) 八幡山町会納涼祭りで募金活動  
9月1日(月) 「協議会ニュース78号」初校正  
9月5日(金) 事務局会議  
9月8日(月) 「協議会ニュース78号」再校正  
9月15日(月) 「協議会ニュース78号」発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。